

平成 24 年度

大学院医学系研究科（博士課程）

学 生 募 集 要 項
（第2次募集）

国立大学法人

滋 賀 医 科 大 学

学生募集要項

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)	1
募集人員	1
出願資格	1
出願手続	2
選抜方法等	3
合格者発表	4
入学手続等	4
入学資格審査	5
個人情報の取扱い	6
学内の略図・交通機関	7

入学案内

目的	8
構成	8
授業科目及び単位数表	10
主な研究内容等	10
履修方法	10
教育方法の特例	11
学位授与	11

別表 1 授業科目及び単位数表	12
別表 2 授業科目及び単位数表 (高度専門医養成部門)	16
別表 3 授業科目及び単位数表 (がん薬物療法医コース、緩和医療医コース、放射線治療医コース、乳腺専門医コース)	18
別表 4 主な研究内容等	19

● 本学は平成23年4月1日より敷地内全面禁煙を実施しています。

学生募集要項

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

博士課程では、旺盛な創造意欲や研究意欲を持ち、また医学の発展や社会福祉の向上に熱意を持って取り組む者を求める。

募集人員

各専攻について若干名
（社会人入学による者を含む）

生体情報解析系専攻
高次調節系専攻
再生・腫瘍解析系専攻
臓器制御系専攻
環境応答因子解析系専攻

（備考） 在職のままで就学を希望する社会人に対して、大学院設置基準第14条による『教育方法の特例』を適用し、「夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法による」教育を取り入れています。

出願資格

1. 大学の医学部医学科、歯学部又は修業年限6年の薬学、獣医学を履修する課程を卒業した者及び平成24年3月までに卒業見込みの者
2. 外国において、学校教育における18年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
4. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
5. 修士課程を修了した者又は修士の学位を有する者と同等以上の学力がある者で、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者等昭和30年4月8日文部省告示第39号及び平成元年9月1日文部省告示第118号により文部科学大臣の指定した者
6. 修業年限が6年の大学（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る。）に4年以上在学し、当該大学を卒業していない者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認めた者
7. 外国において、学校教育における16年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を含むものに限る。）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者であって、所定の単位を優秀な成績で修得したと本学大学院が認めた者

8. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学（医学、歯学又は修業年限6年の薬学、獣医学を履修する課程に限る。）を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成24年3月31日において24歳に達している者

- (注) 1. 社会人入学を希望できる者は、上記のいずれかに該当する者で、出願時に既に就業しており、入学後も引き続き職業を有し、所属長から在職のまま就学することの承諾が得られる者としてします。
- (注) 2. 再生・腫瘍解析系専攻のがん薬物療法医コース、緩和医療医コース、放射線治療医コース、乳腺専門医コースを志望する場合は、上記の「出願資格」のほか、各専門領域の認定医または専門医の受験資格を取得していることが加わります。
- (注) 3. 出願資格5から8のいずれかの出願資格により出願する者は、5ページ「入学資格審査」を参照してください。

出 願 手 続

1. 出願期間

平成24年2月13日（月）～2月17日（金） 消印有効

2. 出願書類の提出先及び照会先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
 滋賀医科大学 学生課入試室入学試験係
 電話 077-548-2071（直通）

3. 出願書類等（※は本学所定の用紙）

書 類 等	備 考
入学志願票 ※	
成績証明書	出身大学(学部)長が作成し、厳封したもので、発行日から6ヶ月以内のもの。本学卒業(見込)者は不要です。 なお、大学院修士課程修了(見込)者にあつては、当該研究科の長が作成し厳封した成績証明書を併せて添付してください。
受験票・写真票 ※	写真（3か月以内に撮影した正面上半身、無帽、縦4cm×横3cmのもの）を写真欄に貼付してください。
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	出身大学(学部)長が作成し、厳封したもので、発行日から6ヶ月以内のもの。本学卒業(見込)者は不要です。
検定料納付確認書（巻末に綴込み） ※	入学検定料 30,000 円を検定料振込用紙（本学所定の用紙・巻末に綴込み）を使用し、銀行で振込んでください。 入学検定料は、平成24年1月30日（月）から2月17日（金）の期間に振込んでください。 振込み後収納印を受けた「振込金受領証明書」を貼付してください。
あて名票 ※	合格通知を受ける宛先を記入してください。台紙は、はがさないでください。
受験票送付用封筒 ※	宛先を記入し、350円分の切手を貼付してください。
所属長の受験許可書	現に大学院に在学中の者（平成24年3月までに修了見込の者は除く。）及び官公署、医療機関、会社等に在職中の者のみ。（本学に在職中の者は不要です。）（別添様式例参照）

(注意) 出願後における記載事項の変更は認めません。また、受理した出願書類は、理由のいかんにかかわらず返還できません。

4. 出願方法

- (1) 郵送の場合
出願書類等を取りまとめ、**本要項添付の封筒により『書留・速達郵便』で送付**してください。
- (2) 持参の場合
2ページの「出願手続2の提出先」に持参してください。受付時間は午前9時から午後5時までとします。

5. 留意事項

- (1) 受験票は、3月7日（水）頃までに、志願者宛に発送します。3月9日（金）までに到着しない場合は、2ページの「出願手続2の照会先」まで至急連絡してください。
- (2) 障害を有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある場合は、出願に先立ち2ページの「出願手続2の照会先」まで申し出てください。
- (3) 入学検定料返還該当者への返還手続きについて
入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下に該当しない者は理由の如何を問わず返還は行いません。
 - ① 検定料を払い込んだが出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）者
 - ② 検定料を誤って二重に払い込んだ者

上記に該当する者は、2ページの「出願手続2の照会先」へ平成24年3月15日（木）までに申し出てください。

選 抜 方 法 等

1. 選抜方法

学力検査、面接及び出願書類を総合して選抜します。
なお、社会人入学希望者に対して別途社会人特別選抜は行いません。本試験にて選抜します。

2. 学力検査等の日時

月	日	時 間	学 力 検 査 等	配 点
3月13日	(火)	9:30～11:30	外国語（英語）	120点
		12:30～13:30	医学・生命科学一般	120点
		14:00～	面 接（個人）	※

- (備考) 1. 「外国語（英語）」には、辞書（電子辞書類を除く）の持ち込みを許可します。
2. 「医学・生命科学一般」の出題範囲等については、別添資料を必ず参照してください。
3. 学力検査に使用できるのは、黒鉛筆（シャープペンシル可）、鉛筆削り、消しゴム、眼鏡、時計（計時機能のみ）に限ります。
4. ※面接は、教育者及び研究者となるにふさわしい資質や適性について段階評価を行い、総合判定に加味します。

3. 場所

滋賀医科大学（7ページの「学内の略図」を参照）
詳細については、受験票送付時に通知します。

合格者発表

平成24年3月21日（水） 午前10時（予定）

入学試験掲示場（受験票送付時に通知します。）及びインターネットホームページ（<http://www.shiga-med.ac.jp/>）において合格者の受験番号を発表し、合格者には別途「合格通知書」を送付します。

なお、電話による問い合わせには一切お答えできません。

入学手続等

1. 日時

・持参の場合

平成24年3月23日（金） 午前9時から午後5時まで

ただし、やむを得ない事情により上記指定日に手続ができない場合は、下記2へ上記時間内に連絡のうえ、平成24年3月26日（月）の午前9時から午後5時までの間に手続を行ってください。

・郵送の場合

平成24年3月26日（月） 午後5時必着

郵送の場合は、平成24年3月23日（金）午後5時までに下記2へ連絡してください。

2. 手続場所（郵送先）

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学 学生課入試室入学試験係
電話 077-548-2071（直通）

3. 納付金等

- (1) 入学料 未定（参考：平成23年度 282,000円）
- (2) 授業料 未定（参考：平成23年度 267,900円（前期分） [年額 535,800円]）

- ① 入学料等の額及び納付の詳細については、合格者に別途通知します。
納付金が改定された場合は、改定後の金額を適用します。
- ② 前期分の授業料は、本学所定の振込依頼書により平成24年4月中に納付していただくこととなります。
- ③ 授業料については、年額を納付することができます。
- ④ 授業料が在学中に改定された場合は、改定時から新しい授業料を適用します。

4. 納付金の免除等

入学料及び授業料には免除及び徴収猶予の制度があり、これに関する手続等については、合格者に別途通知します。

5. 提出書類等

入学手続に必要な書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

6. 留意事項

- (1) 入学手続には、受験票が必要ですので、紛失しないように注意してください。
- (2) 上記の期限までに入学手続を完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

入学資格審査

出願資格5から8のいずれかの出願資格により出願しようとする者は、事前に個別の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願を認めます。

1. 申請書類

- (1) 出願資格6、7の場合は、下記の①から⑤
- (2) 出願資格5の場合は、下記の①から③
- (3) 出願資格8の場合は、下記の①から③及び⑥
 - ① 入学資格認定審査申請書（本学所定の用紙）
 - ② これからの研究課題及び研究計画（A4判用紙により1,200字程度）
 - ③ 成績証明書（発行日から6ヶ月以内のもの。）
 - ④ 推薦書（出身大学の（部）長等が作成したもの）
 - ⑤ 在学大学の教育課程表（写）及び授業計画書〔シラバス〕（写）
 - ⑥ 推薦書（研究所・医療機関等の指導者が作成したもの）

2. 申請期間

平成24年1月25日（水）～1月27日（金） 午後5時（必着）

3. 申請書類の提出先

2ページの「出願手続2の提出先」と同じです。

なお、郵送する場合は『簡易書留郵便』とし、その封筒の表に「大学院博士課程入学資格認定審査申請書在中」と朱書きしてください。持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までとします。ただし、土曜日及び日曜日は受け付けません。

4. 資格審査

資格審査は、提出された申請書類により行います。ただし、必要に応じ面接を行うことがあり、この場合は、改めて申請者に通知します。

5. 審査結果

審査結果の通知は、平成24年2月9日（木）頃までに、申請者宛に発送します。

入学資格「有」と認められた者は、本要項に定める出願手続（出願書類のうち「成績証明書」を除く）を行ってください。

個人情報の取扱い

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報については、次のとおり取り扱いますので、予めご了承ください。

1. 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人滋賀医科大学の保有する個人情報の適切な管理のための措置に関する規程」に基づいて取り扱います。
2. 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、①入学選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
3. 入学選抜に用いた試験成績は、今後の入学選抜方法の検討資料作成のために利用します。
4. 出願書類等に記載された個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

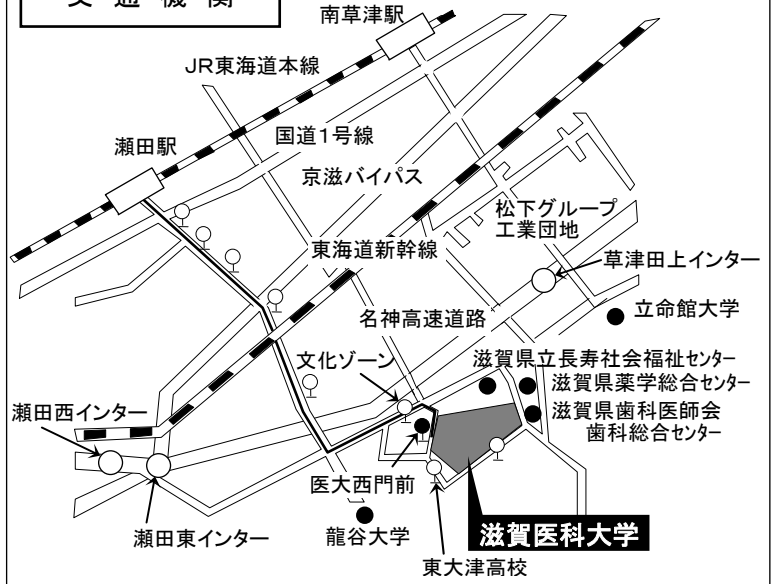
学内の略図



**管理棟
 学生課入試室入学試験係**

- ①一般教養棟
- ②基礎研究棟
- ③基礎講義実習棟
- ④福利棟
- ⑤実験実習支援センター(機器部門)
 分子神経科学研究センター
- ⑥臨床研究棟
- ⑦実験実習支援センター(RI部門)
 動物生命科学研究センター
- ⑧臨床講義棟
- ⑨管理棟・保健管理センター
- ⑩図書館・マルチメディアセンター
- ⑪看護学科棟
- ⑫MR医学総合研究センター
- ⑬バイオメディカル・イノベーションセンター
- ⑭クリエイティブ・モチベーションセンター

交通機関



●JR東海道本線(琵琶湖線)瀬田駅前から「滋賀医大」行きの路線バス「医大西門前」下車(所要時間約15分)

入学案内

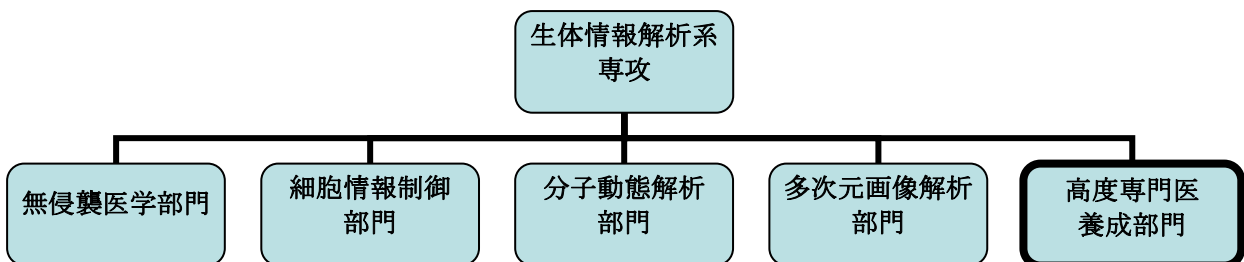
目的

大学院医学系研究科（博士課程）は、医学の領域において、研究者として自立して創造的研究活動を行うのに必要な高度の研究能力と、その基礎となる豊かな学識及び人間性を備えた優れた研究者を育成することを目的とし、医学の進歩と社会福祉の向上に寄与することを使命とします。

構成

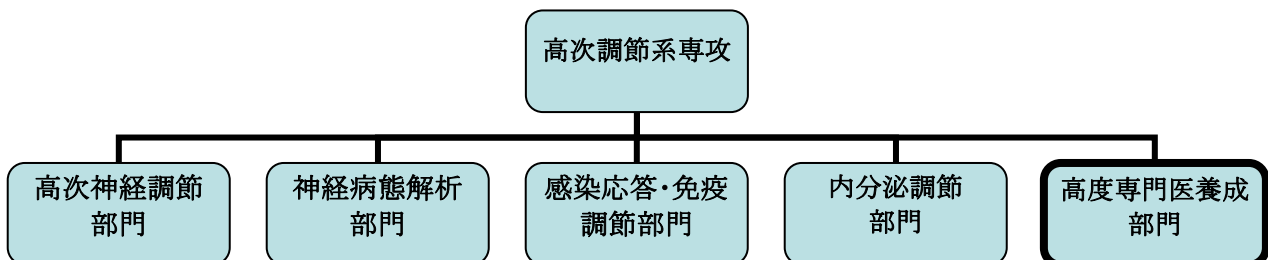
- ・ 5専攻、23部門、4コースにより編成されています。
- ・ 全専攻に「高度専門医養成部門」を設置しています。

【生体情報解析系専攻】



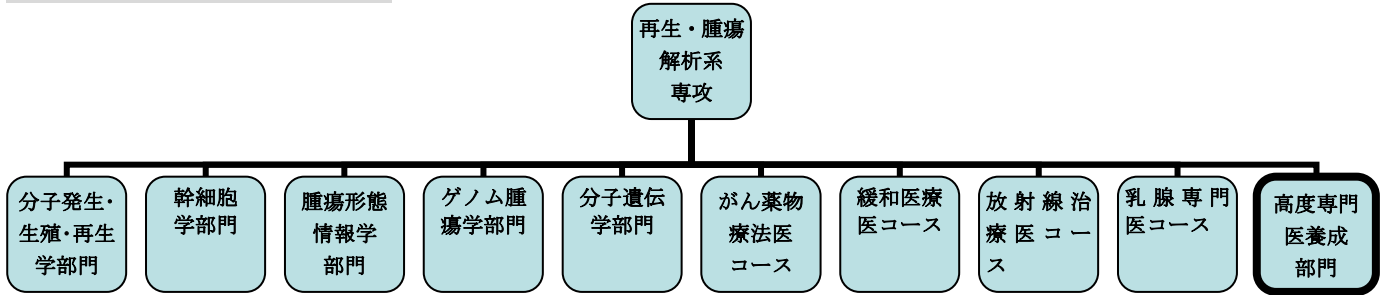
本専攻では、幅広い研究分野を統合した研究体制を構築し、細胞内の遺伝子やタンパク質といったマイクロレベルから組織、臓器、さらには個体といったマクロレベルにおよぶ種々のレベルで生命機能情報の伝達処理メカニズムを明らかにすることを目的とし、基礎生命科学の成果が臨床医学に直ちに生かされ、新しい診断法や治療法の開発につながる医学研究の展開を目指す。

【高次調節系専攻】



本専攻では、神経科学、内分泌学、免疫学、感染防御学、心理学、臨床医学などを結集し、これまでにない統合的視点から、アルツハイマー病、メニエール病、炎症性腸疾患、動脈硬化、心身症など心と身体の相互機能連鎖を解析し、ストレスの増加の著しい近代社会の問題に医学の側面から貢献することを目指す。

【再生・腫瘍解析系専攻】

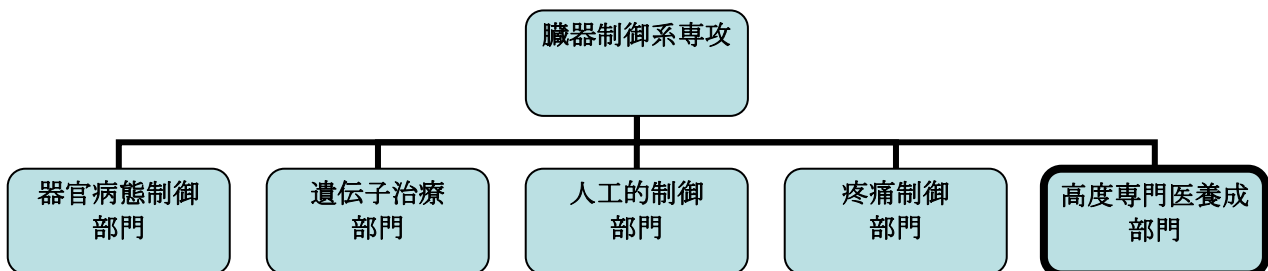


本専攻では、生物学的基本事象である発生、再生と癌化の問題を最新の分子生物学的手法で解析し、従来の形態情報学と統合することで、発生学、再生医学と腫瘍学を新たに展開しようとするものである。また、遺伝学的な側面をもつ各種疾患の特性を分子レベルで解析し、発生の予防を図る。

今後、再生医学の大きな応用は再生医療にあるが、本専攻では、マウス、サルやヒトのES細胞を確立し、各種細胞や臓器に分化させる方法を探り、ヒトへ応用していくための再生医療の方法の開発を目指す。

また、学位と同時にがんの専門医の取得を目指す、4コースも設置されている。

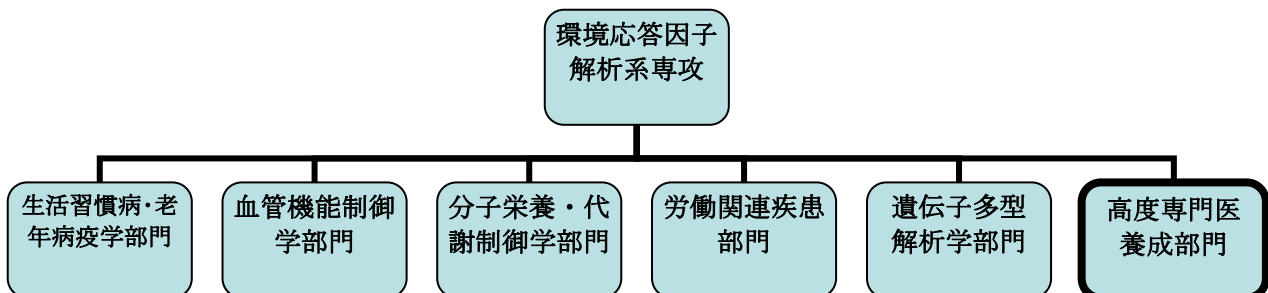
【臓器制御系専攻】



本専攻では、あらゆる分野の先進的プロジェクトやテーマを有機的に個々の臓器制御に取り入れ、改良と種々の知見を融合させることで、革新的な治療体系の構築を目指す。

具体的には、体外環境に対する臓器の反応に対する制御機序の解明に始まり、人工的に作製改変された遺伝子から材料機器システム開発に至る先進的な研究（遺伝子治療、治療から臓器移植等）とその臨床応用により臓器制御を行い、QOLの向上につなぐ。

【環境応答因子解析系専攻】



本専攻では、生活習慣の変貌によっておこる病態形成の分子機構、特に血管機能の制御機構を解明し、さらに疾患感受性遺伝子の特異性と疾患発症の関連を解析することにより、生活習慣病危険対象者の同定とその予防するための基礎的研究を拡大する。さらに、これら生活習慣病および老年病の予防、診断、治療には、臨床疫学的手法を用いた科学的根拠に基づく健康教育のシステム化、治療指針の作成、多国間研究によるわが国の特異性、労働関連性などを明らかにすることを目指す。

これらの研究を通じて、高度の専門的知識を獲得し、生活習慣病・老年病対策現場で活躍できる高度専門職業人の育成を図る。

授業科目及び単位数表

別表1のとおり。なお、高度専門医養成部門については別表2、がん薬物療法医コース、緩和医療医コース、放射線治療医コース、乳腺専門医コースについては別表3のとおり。

主な研究内容等

別表4のとおり。

履修方法

1. 1年次、2年次において、所属専攻の必修科目4単位以上、全専攻の共通科目8単位以上（共通科目の必修科目6単位、選択必修科目から2単位以上）、指導教員の指定する選択必修科目6単位以上並びに当該専攻の他の選択必修科目及び選択科目から12単位以上（このうち6単位までは、当該専攻以外の授業科目の単位をもって代替できる。）計30単位以上を履修するものとする。

高度専門医養成部門については、1年次、2年次において、高度専門医養成部門共通科目から8単位以上、高度専門医養成部門関連の講義・演習・実習を含め16単位以上、所属する各専攻共通科目から必修4単位、選択必修2単位以上の計30単位以上を修得するものとする。

2. 3年次及び4年次においては、指導教員の下で、研究課題に即した研究指導を受けるとともに、自発的な研究活動に専念し、研究者として自立して独創的な研究活動を行うために必要な高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を養います。高度専門医養成部門及びがん薬物療法医コース、緩和医療医コース、放射線治療医コース、乳腺専門医コースにおいては、高度な研究能力と専門的な臨床能力を養います。

3. がん薬物療法医コース、緩和医療医コース、放射線治療医コース、乳腺専門医コースの修了要件及び履修方法については以下のとおりとする。

【がん薬物療法医コース】

共通必修科目4単位、分野科目20単位、共通選択科目およびコース科目から6単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、本大学院が行う博士論文の審査および最終試験に合格すること。

【緩和医療医コース】

共通必修科目4単位、分野科目20単位（10単位×2科目）、共通選択科目およびコース科目の必修と選択から6単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、本大学院が行う博士論文の審査および最終試験に合格すること。

【放射線治療医コース】

共通必修科目4単位、分野科目20単位、共通選択科目およびコース科目の必修と選択から6単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、本大学院が行う博士論文の審査および最終試験に合格すること。

【乳腺専門医コース】

共通必修科目4単位、分野科目20単位、共通選択科目およびコース科目の必修と選択から6単位以上、合計30単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、本大学院が行う博士論文の審査および最終試験に合格すること。

教育方法の特例

大学院医学系研究科（博士課程）においては、大学院設置基準第 14 条「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学し、教育・研究指導を受けることが可能になるよう、昼間だけでなく夜間その他特定の時間又は時期に授業・研究指導を行うよう配慮しています。

学位授与

1. 修業年限は 4 年を標準とします。
2. 学位の種類は、博士（医学）とします。
3. 学位は、大学院に 4 年以上在学し、上記履修方法により 30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、論文審査及び最終試験に合格した者に授与します。ただし、3 年以上在学し、極めて優れた研究業績を上げ、所定の要件を満たした場合には在学期間が 4 年未満であっても学位を授与することがあります。

授 業 科 目 及 び 単 位 数 表

専攻名	部門名	授業科目名	年次・単位数			修了に必要な単位数	備考		
			1年次	2年次	計				
全専攻	共通	医学総合研究特論	6	6	6	30 単位 以上	必修		
		医療行動科学	1	1	1		選択必修		
		生命倫理学	1	1	1				
		生物統計学	1	1	1				
生体情報解析系専攻	共通	生命情報学	4		4	30 単位 以上	必修		
		生体情報計測論	1	2	3		選択必修		
		実験情報処理論	1	2	3				
		生体機能システム論	1	2	3				
		生体情報解析論	1	2	3				
		生体機能調節概論	1	2	3				
	無侵襲医学部門	核医学	2	2	4		30 単位 以上	選 択	
		超音波診断学	2	2	4				
		X線診断学	2	2	4				
		磁気共鳴医学	2	2	4				
	細胞情報制御部門	細胞情報生物学	2	2	4				
		膜輸送蛋白解析学	2	2	4				
		病態情報生理学	2	2	4				
		循環機能学	2	2	4				
	分子動態解析部門	病態情報生化学	2	2	4				
分子細胞生物学		2	2	4					
遺伝子情報学		2	2	4					
代謝情報生物学		2	2	4					
多次元画像解析部門	生体画像工学	2	2	4					
	生体情報工学	2	2	4					
	生物物理化学	2	2	4					
高次調節系専攻	共通	神経、免疫、内分泌の統合科学	4		4	30 単位 以上	必修		
		神経科学方法論	3		3		選択必修		
		免疫学方法論	3		3				
		内分泌学方法論	3		3				
		人体構造解析方法論	3		3				
	高次神経調節部門	分子神経形態学	2	2	4		30 単位 以上	選 択	
		神経組織細胞化学	2	2	4				
		神経回路学	2	2	4				
		中枢神経生理学	2	2	4				
		痛覚・鎮痛神経生理学	2	2	4				
		糖鎖脳科学	2	2	4				
		脳内免疫炎症学	2	2	4				
		神経内分泌学	2	2	4				
	神経病態解析部門	小児神経学	2	2	4				
睡眠精神医学		2	2	4					
脳リズム学		2	2	4					

高次調節系専攻	神経病態解析部門	精神神経薬理学	2	2	4	選 択	
		分子精神医学	2	2	4		
		睡眠科学	2	2	4		
		脳病態学	2	2	4		
		視覚病態生理学	2	2	4		
		聴覚・音声神経学	2	2	4		
		神経遺伝子解析学	2	2	4		
		分子神経医学	2	2	4		
		急性生体侵襲神経病態解析学	2	2	4		
	臨床神経医学	2	2	4			
感染応答・免疫調節部門	感染免疫学	2	2	4	選 択		
	免疫応答学	2	2	4			
	免疫制御学	2	2	4			
	糖鎖免疫学	2	2	4			
	腸管免疫・内分泌学	2	2	4			
	消化器免疫学	2	2	4			
	皮膚免疫学	2	2	4			
内分泌調節部門	内分泌制御学	2	2	4	選 択		
	性ホルモン病態学	2	2	4			
再生腫瘍解析系専攻	共 通	細胞増殖動態学総論	2	2	4	必 修	
		発生学、先天異常学	2	1	3		選択必修
		再生医学総論	2	1	3		
		腫瘍診断学	2	1	3		
分子発生・生殖・再生学部門	生殖生理学	2	2	4	選 択		
	生殖病理学	2	2	4			
	周産期病態学	2	2	4			
幹細胞学部門	発生工学、制御学	2	2	4	選 択		
	細胞分化学総論	2	2	4			
	生命倫理学	2	2	4			
腫瘍形態情報学部門	形態学的研究方法	2	2	4	選 択		
	細胞診断学	2	2	4			
	組織化学総論	2	2	4			
	染色体異常学	2	2	4			
ゲノム腫瘍学部門	癌遺伝子、疾患遺伝子学	2	2	4	選 択		
	腫瘍ウイルス学	2	2	4			
	発癌と制癌の機序	2	2	4			
分子遺伝学部門	放射線障害学	2	2	4	選 択		
	分子細胞遺伝学	2	2	4			
臓器制御系専攻	共 通	病態制御学	2		2	必 修	
		臓器機能制御学	2		2		
	炎症制御学	2		2	選択必修		
	腫瘍制御学	2		2			
	薬物制御学	2		2			
	器官生化学	2		2			
	実験動物学	2		2			
	医用工学	2		2			
	器官生理学	2		2			

臓器制御	器官病態制御部門	脳循環・代謝学	1	1	2	選 択
		脳機能制御外科学	2	2	4	
		循環器制御内科学	2	2	4	
		循環器制御外科学	2	2	4	
		プライマリーケア医学	2	1	3	
		呼吸器診断、治療学	2	2	4	
		口腔顎機能制御学	2	2	4	
		咽喉頭機能制御学	2	2	4	
		頭頸部制御外科学	2	2	4	
		消化器制御内科学	2	2	4	
		消化器制御外科学	2	2	4	
		消化管機能の神経・体液性調節学	1	1	2	
		腸管内環境学	1	1	2	
		腎病態生理学	2	2	4	
		泌尿器制御学	1	1	2	
		皮膚移植再建外科学	1	1	2	
		体性感覚生理学	1	1	2	
		病態運動器学	1	1	2	
		生体力学、人間工学	1	1	2	
		手術管理学	1	1	2	
系	遺伝子治療部門	臨床遺伝学	2	2	4	
		遺伝子制御学	2	2	4	
		臨床免疫学	2	2	4	
		消化器分子生物学	2	2	4	
		分子病態学	2	2	4	
専攻	人工的制御部門	生殖機能制御学	1	1	2	
		遺伝子工学	2	2	4	
		システム生理学	2	1	3	
		組織工学	2	2	4	
		生体材料学	2	2	4	
		医用光工学	1	1	2	
		臓器移植学	1	1	2	
		ロボティクス	1	1	2	
		人工臓器学	1	1	2	
		放射線生物物理学	1	1	2	
生体物理医学	1	1	2			
	疼痛制御部門	麻酔下神経機能学	1	1	2	
		麻酔科学	2	2	4	
		ストレス科学	1	1	2	
		侵襲医学	2	2	4	

環境応答因子解析系専攻	共通	基礎疫学	1		1	必修	
		基礎循環薬理学	1		1		
		遺伝子解析学	1		1		
		環境科学基礎理論	1		1		
		健康教育学	3		3		選択必修
		生物学的検定法	3		3		
		遺伝子機能解析学	3		3		
		産業医学基礎理論	3		3		
	生活習慣病・老年病疫学部門	臨床疫学	2		2	選択	
		分子疫学	2		2		
		生活習慣病学	4		4		
		環境老年病学	4		4		
健康教育学			4	4			
コホート研究			4	4			
介入研究 演習			4	4			
血管機能制御学部門	循環薬理学	2	4	6			
	血管緊張調節機構	4		4			
	循環病態生理学		4	4			
	末梢神経薬理学	2	2	4			
分子栄養・代謝制御学部門	栄養代謝調節学	2		2			
	栄養生理学	2		2			
	運動生理学	2		2			
	病態栄養学		3	3			
	病態遺伝解析学		3	3			
	栄養治療学		3	3			
労働関連疾患部門	環境衛生学	4		4			
	産業医学	4		4			
	労働衛生管理論		4	4			
	労働関連疾患の疫学		4	4			
	人間工学	2		2			
	障害者保健論	2		2			
	ジェンダー論		2	2			
遺伝子多型解析学部門	循環系疫学	4	5	9			
	循環器病態分子生物学	4	5	9			
	循環器遺伝子治療学	4	5	9			

授業科目及び単位数表(高度専門医養成部門)

専攻	部門	授業科目名	授業を行 う年次	単位数			備考	
				講義	演習	実習		
各専攻	高度専門医養成部門共通科目	医学・医療倫理・福祉学	1・2	2			必修	
		臨床疫学・医療情報処理学	1・2		2			
		先端臨床研究学	1・2		2			
		実験動物と動物実験倫理	1・2	2			選択	
		医療経済学	1・2	2				
		医療画像	1・2	2				
		医薬品学	1・2	2				
		核医学演習	1・2		2			
		ゲノム医科学	1・2		2			
	高度専門医養成部門科目	法医学	1・2	4				選択
			1・2		6			
			1・2			6		
		循環器科・呼吸器内科学	1・2	4			6	
			1・2		6			
			1・2			6		
		消化器・血液内科学	1・2	4			6	
			1・2		6			
			1・2			6		
		内分泌代謝・腎臓・神経内科学	1・2	4			6	
			1・2		6			
			1・2			6		
		小児科学	1・2	4			6	
			1・2		6			
			1・2			6		
		精神医学	1・2	4			6	
			1・2		6			
			1・2			6		
		皮膚科学	1・2	4			6	
			1・2		6			
			1・2			6		
消化器・乳腺・一般外科学		1・2	4			6		
		1・2		6				
		1・2			6			
心臓血管・呼吸器外科学		1・2	4			6		
		1・2		6				
		1・2			6			
整形外科科学	1・2	4			6			
	1・2		6					
	1・2			6				

専攻	部門	授業科目名	授業を行う年次	単位数			備考
				講義	演習	実習	
各専攻	高度専門医養成部門科目	脳神経外科学	1・2	4			選 択
			1・2		6		
			1・2			6	
		耳鼻咽喉科学	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	
		産科学・婦人科学	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	
		泌尿器科学	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	
		眼科学	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	
		麻酔学	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	
		放射線医学	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	
		家庭医療学	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	
		歯科口腔外科学	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	
		臨床検査医学	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	
		救急集中治療医学	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	
		病理診断学	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	
		臨床薬剤学	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	
		先端臨床検査技術	1・2	4			
			1・2		6		
			1・2			6	

授業科目及び単位数表

(がん薬物療法医コース、緩和医療医コース、放射線治療医コース、乳腺専門医コース)

専攻名	コース名	授業科目名	授業を行う年次	単位数			備考	
				講義	演習	実習		
再生・腫瘍解析系専攻	共通	がん基礎学	1・2	2			} 必修	
		緩和ケア学	1・2	2				
		腫瘍薬剤学	1・2	2		2	} 選択	
		医療統計学	1・2	2		2		
	がん薬物療法医コース	がん薬物治療法学	1・2	6	8	6	} 必修	
		臨床腫瘍学	1・2	1	3			
		外来化学療法学	1・2			2		
		血液内科学	1・2	1	1	2		
		消化器内科学	1・2	1	1	2		
		呼吸器内科学	1・2	1	1	2		
		小児科学	1・2	1	1	2		
		皮膚科学	1・2	1	1	2		
		消化器外科学	1・2	1	1	2		
		乳腺・一般外科学	1・2	1	1	2		} 選択
		呼吸器外科学	1・2	1	1	2		
		整形外科学	1・2	1	1	2		
		脳神経外科学	1・2	1	1	2		
		耳鼻咽喉科学	1・2	1	1	2		
		女性診療科学	1・2	1	1	2		
		泌尿器科学	1・2	1	1	2		
眼科学	1・2	1	1	2				
放射線科学	1・2	1	1	2				
歯科口腔外科学	1・2	1	1	2				
緩和医療医コース	精神医学	1・2	2	4	4	} 選択必修		
	麻酔学	1・2	2	4	4			
	臨床腫瘍学総論	1・2	4	6				
	臨床腫瘍学各論	1・2		4	6			
	がん薬物療法学	1・2	2	2	2	} 必修		
	がん電磁波治療学	1・2		2	2		} 選択	
放射線治療医コース	放射線腫瘍学・画像応用治療学	1・2	4	8	8	} 必修		
	臨床腫瘍学	1・2	1	3				
	高精度放射線治療学	1・2			2			
	基礎腫瘍学	1・2	1	3		} 選択		
	腫瘍診断学	1・2	2	2				
乳腺専門医コース	乳腺外科学	1・2	4	8	8	} 必修		
	臨床腫瘍学	1・2	1	3				
	がん薬物治療法学	1・2			2	} 選択		
	放射線治療学	1・2			2			

主 な 研 究 内 容 等

(別表4)(平成23年 12月22日現在)

専攻名	部門名	職 名	氏 名	講 座 名 等	主 な 研 究 内 容
生 体 情 報 解 析 系 専 攻	無 侵 襲 医 学 部 門	教 授	村 田 喜代史	放射線医学講座	1. 胸部画像診断法の研究 2. 腫瘍画像診断法の解析
		教 授	犬 伏 俊 郎	MR医学総合研究センター	1. 非侵襲的手法による生体内化学反応機序の解析 2. 核磁気共鳴(MR)法による病態解析 3. 移植細胞の非侵襲的追跡(分子イメージング)
		教 授	三ッ浪 健 一	家庭医療学講座	1. 家庭医療学研究 2. 地域包括プライマリケア研究 3. 地域立脚型医学教育研究
		准教授	高 橋 雅 士	放射線部	1. 高分解能CTによる肺び細構造の描出に関する解析 2. 肺野末梢構造の三次元解析 3. 開放型MRIを用いた横隔膜・胸部運動の解析 4. 肺腫瘍性病変の画像・病理相関に関する研究 5. びまん性肺疾患の画像・病理相関に関する研究
		准教授	西 田 保 裕	眼科学講座	1. MRI による外眼筋の病態評価の研究 2. 斜視の病態生理の研究 3. 外眼筋手術治療の開発
		准教授	椎 野 顯 彦	MR医学総合研究センター	1. 脳循環代謝 2. MRスペクトロスコピー
		講 師	新 田 哲 久	放射線科	1. 最新の胸部画像診断装置のファントムを使った評価 2. 新しいIVRの臨床応用のための基礎的研究 3. 薬剤動態の画像化の研究
		講 師	村 木 早 苗	眼科	1. 斜視の病態生理の研究 2. 弱視の病態生理の研究 3. 錐体視物質遺伝子の研究
		講 師	井 藤 隆 太	放射線科	1. 磁気共鳴法を利用した脳形態情報及び機能情報画像化の研究
	細胞 情 報 制 御 部 門	教 授	松 浦 博	生理学講座 細胞機能生理学	1. 心筋イオンチャネルの機能解析 2. 不整脈発生の分子機構の解析 3. 心筋虚血再灌流傷害の発生機転の解明
		准教授	尾 松 万里子	生理学講座 細胞機能生理学	1. 細胞骨格によるイオンチャネル活性調節機構の解析 2. 細胞内Ca ²⁺ を制御する多様な機構とその統合の解析
		准教授	小 原 明 人	生命科学講座 基礎生物学	1. 上皮膜におけるイオンチャネル機構の研究 2. 歯根膜細胞のイオンチャネル活性調節機構の研究 3. 骨・軟骨細胞のイオンチャネルの機能解析
		准教授	伊 藤 誠	内科学講座 循環器	1. 臨床心臓電気生理学の研究 2. 不整脈の治療法の開発 3. 心臓電気現象のシミュレーション研究
		講 師	北 川 裕 利	麻酔学講座	1. 心筋虚血再灌流傷害モニタリング法の開発 2. 麻酔・麻薬による心保護作用の解明 3. 同術期心臓自律神経系調節系の解析
	分子 動 態 解 析 部 門	教 授	堀 池 喜八郎	生化学・分子生物学講座 分子生理化学	1. O ₂ の分子生理化学 2. D-アミノ酸の生理化学 3. 酵素の構造、機能とその調節
		教 授	吉 田 不空雄	生命科学講座 物理学	1. イオン系の静的・動的構造に関する研究 2. 細胞間情報伝達の物理化学過程に関する研究
		教 授	木 村 隆 英	生命科学講座 化学	1. 超音波の生体への作用機構 2. 茶カテキンの生体への作用機構
		教 授	扇 田 久 和	生化学・分子生物学講座 分子病態生化学	1. がん、循環器疾患におけるシグナル伝達機構 2. 細胞接着の分子機構
		准教授	石 田 哲 夫	生化学・分子生物学講座 分子生理化学	1. O ₂ の分子生理化学 2. D-アミノ酸の生理化学 3. 酵素の構造、機能とその調節
		准教授	上 山 久 雄	生化学・分子生物学講座 分子病態生化学	1. 錐体視物質遺伝子の解析 2. 錐体カチオンチャネルの解析

専攻名	部門名	職名	氏名	講座名等	主な研究内容
生体情報解析系専攻	分子動態解析部門	准教授	磯野高敬	実験実習支援センター	1. 腫瘍細胞の細胞・分子生物学的解析 2. プロテオミクスを用いたタンパク質相互作用の解析 3. 次世代シーケンサーを用いたトランスクリプトーム解析
		准教授	小松直樹	生命科学講座 化学	1. ナノ炭素化合物(フラーレン、カーボンナノチューブ、ナノダイヤモンド)の分離精製 2. ナノ炭素化合物を基体とする分子プローブの開発
		講師	瀬戸倫義	麻酔科	1. 分子間相互作用レベルでの麻酔メカニズムの解明 2. 吸入麻酔薬によるタンパク質の疎水性脱水過程の解明
	多門次元画像解析	教授	小森優	生命科学講座 生命情報学	1. 生体の形態的力学的モデリング 2. 触感応答を伴う医用シミュレータの開発 3. 力覚感知特性の解明とロボット手術への応用 4. 生体画像処理とバーチャルリアリティの医療応用
		准教授	川北素子	生命科学講座 数学	1. 多数の有理点を持つ代数曲線の研究 2. 符号理論
高次調節系専攻	高次神経調節部門	教授	工藤基	解剖学講座 神経形態学	1. 脳の感覚情報処理機構の解析 2. 神経回路網の解析(神経トレーサー手技) 3. 神経心理学(記憶、言語、学習)
		教授	西克治	社会医学講座 法医学	1. 脳に発現される糖鎖抗原と脳疾患との関連 2. ABO式血液型関連抗原の機能と動脈硬化との関連
		准教授	小山なつ	生理学講座 統合生理学	1. 痛覚と鎮痛の神経生理学的研究
		准教授	相見良成	解剖学講座 神経形態学	1. 消化管神経系の形態学 2. 一次感覚神経の形態学
	神経病態解析部門	教授	竹内義博	小児科学講座	1. 脳の可塑性に関する研究 2. 小児難治性神経疾患の治療法の開発 3. 発達障害に関する基礎的研究
		教授	遠山育夫	分子神経科学研究センター 神経難病診断学分野	1. アルツハイマー病の病態解析と診断・治療法の開発 2. 神経疾患の病態遺伝子解析 3. 神経疾患のMR画像診断 4. コリン神経の分子生物学的研究
		教授	山田尚登	精神医学講座	1. 精神疾患の時間生物学的研究 2. 精神疾患の睡眠医学
		特任教授	宮崎総一郎	睡眠学講座	1. 成人睡眠時無呼吸症候群の診断 2. 小児睡眠呼吸障害の疫学調査 3. 睡眠教育
		准教授	西村正樹	分子神経科学研究センター 神経難病病因学分野	1. アルツハイマー病の分子病態解明 2. 神経変性疾患の分子細胞生物学
		准教授	中村紳一郎	動物生命科学研究センター	1. アルツハイマー病モデルサルの開発 2. サル類のトランスサイレチンアシロイド症に関する研究
		准教授	高野知行	小児科学講座	1. 脳皮質形成異常におけるけいれん準備性
		准教授	漆谷真	分子神経科学研究センター 神経難病治療学分野	1. 筋萎縮性側索硬化症の病態解析、治療開発研究 2. 神経変性疾患の細胞生物学、分子遺伝学
		講師	金井裕彦	精神科神経科	1. てんかんの成因と海馬機能 2. 睡眠時無呼吸症候群の病態
		講師	今井真	精神科神経科	1. 感覚情報処理と睡眠 2. 過眠・概日リズム障害の病態生理
		講師	川合寛道	神経内科	1. 糖尿病神経障害の発症機構とTNF 2. ミトコンドリア脳筋症の病態解明
講師	高橋正洋	精神医学講座	1. 認知機能 2. 拡散テンソル画像 3. 向精神薬の薬理学		

専攻名	部門名	職名	氏名	講座名等	主な研究内容
高次調節系専攻	感染応答・免疫調節部門	教授	小笠原 一誠	病理学講座 疾患制御病理学	1. メモリーTリンパ球と樹状細胞上の分子の研究 2. サル癌モデルの開発 3. CTL誘導によるウイルス感染の制御および腫瘍拒絶の研究
		教授	後藤 敏	病理学講座 微生物感染症学	1. パラインフルエンザウイルスの病原性発現機構の研究 2. ヒトメタニューモウイルスの基礎的研究 3. ウイルスの免疫回避機構の研究
		教授	清水 猛史	耳鼻咽喉科学講座	1. 上気道炎症の病態とその制御 2. 病態気道における粘液産生と分泌 3. 上気道の免疫・アレルギー
		大学院教授	安藤 朗	大学院医学系研究科高次調節系専攻感染応答・免疫調節部門(消化器免疫)	1. 腸管粘膜における免疫応答に関する研究 2. 腸内細菌叢の異常とIBDの病因に関する研究 3. サイトカインネットワークに関する研究
		准教授	伊藤 靖	病理学講座 疾患制御病理学	1. 新型インフルエンザウイルスに対するワクチンの開発 2. Tリンパ球の末梢リンパ組織での分化に関する研究 3. モデル動物としてのサルの免疫反応の研究
		准教授	佐井 義和	手術部	1. 麻酔薬の気道平滑筋・血管平滑筋に対する作用メカニズムの研究
		講師	神前 英明	耳鼻咽喉科	1. 上皮細胞による気道アレルギー疾患誘導のメカニズムとその制御
	内部分門調整				
再生・腫瘍解析系専攻	分子発生・生殖・再生学部門	教授	村上 節	産科学婦人科学講座	1. 産婦人科領域の内視鏡下手術 2. 子宮内膜症の疾患制御 3. 生殖内分泌学・生殖生理学
		教授	宇田川 潤	解剖学講座 生体機能形態学	1. げっ歯類を用いた中枢神経系発生に関する研究 2. ヒト胎児臓器の形態形成に関する研究
		准教授	中川 雅生	治験管理センター	1. 心臓発生と心筋細胞の生長に関する研究 2. 心奇形発生の機序に関する研究 3. 小児の医薬品開発のすすめ方に関する研究
		准教授	喜多 伸幸	産科学婦人科学講座	1. 周産期医学 2. 周産期医療体制 3. 産科DICの診断と治療
		講師	木村 文則	女性診療科	1. 卵子活性化の制御 2. 癌化学療法時における卵巣機能保持 3. 子宮内膜症、子宮腺症の発生機構の解明
	幹細胞学部門	教授	鳥居 隆三	動物生命科学研究センター	1. サル類の生殖生理学的研究 2. サルES/iPS細胞に関する研究 3. 体細胞核移植クローン胚作製に関する研究 4. サルの発生工学的手法による胚と生殖腺の発生に関する研究
		教授	等 誠司	総合臓器生理学	1. 神経幹細胞の発生・維持・分化のメカニズム解析 2. 中枢神経系の再生戦略開発 3. 精神疾患の病態解明
		准教授	今村 武史	薬理学講座	1. 幹細胞(iPS細胞)の分化誘導に関する研究 2. 糖尿病・インスリン抵抗性における幹細胞機能の研究 3. インスリン作用・糖代謝の細胞生物学的解析 4. インスリン抵抗性による血管内皮障害発症機序の解析
	腫瘍形態情報学部門	教授	岡部 英俊	臨床検査医学講座	1. 脳神経の発生と腫瘍形質の関係について 2. 癌の遺伝子診断
		准教授	太田 茂	医師臨床教育センター	1. 小児悪性腫瘍の発起始源に関する分子生物学的研究 2. 小児悪性腫瘍の自己造血幹細胞移植による治療法の研究
		講師	多賀 崇	小児科	1. 小児悪性腫瘍の進展・転移に関する研究 2. 小児白血病の新規治療開発に関する臨床研究
		講師	深見 忠輝	脳神経外科	1. 神経膠腫に対する集学的治療法の研究 2. 覚醒下手術の安全性及び危険性に関する研究 3. 内視鏡下手術による治療の適応に関する研究

専攻名	部門名	職名	氏名	講座名等	主な研究内容	
再生・腫瘍解析系専攻	ゲノム腫瘍学部門	教授	杉原洋行	病理学講座 分子診断病理学	1. ゲノム変化の網羅的検出による腫瘍の系譜解析 2. 未分化型胃癌の発生と進展 3. エピジェネティックな遺伝子発現調節のがん進展に伴う変化	
		特任教授	醍醐 弥太郎	総合がん治療学講座	1. 新規がん関連遺伝子の同定と機能解析による発がん機構の解明 2. ゲノミクス、プロテオミクス解析による体系的がん進展機構の解明 3. がんの新規分子標的治療薬(低分子・抗体・核酸医薬)、がんペプチドワクチンの開発と臨床研究 4. がんの個別化医療に向けたバイオマーカーと分子病態診断システムの開発と臨床研究	
		准教授	井上 寛一	病理学講座 微生物感染症学	1. 新規癌抑制遺伝子の機能解析 2. ヒトがんウイルスによる発がん機構の解析 3. ストレス応答とアポトーシス/オートファジー制御の解析 4. ウイルス増殖抑制機構の解析	
		准教授	茶野 徳宏	臨床検査医学講座	1. 遺伝子診断の臨床適用 2. 新規分子RBICCIの生物学的機能の解析 3. 新規分子RBICCIを応用した治療法の開発 4. がん特異的バイオマーカーを用いた診断と治療の開発	
		准教授	向所 賢一	病理学講座 分子診断病理学	1. 動物モデルを用いた胃・食道発癌に関する研究 2. GERD疾患モデルを用いた食道外病変に関する研究 3. 胆汁酸の発癌への関与	
		講師	岡本 圭生	泌尿器科	発生・発癌におけるエピジェネティクス制御機構 1. 生殖系列・精巢胚細胞発生におけるゲノム・リプログラミング機構の解析 2. 精巢癌のエピジェネティクス制御機構の解析とその臨床応用 3. 不活化X染色体の喪失による発癌機構の研究	
	分子遺伝学部門	教授	木村 博	生化学・分子生物学講座 分子遺伝医学	1. DNA障害とその修復の細胞・分子生物学的研究 2. 細胞突然変異・形質転換の分子生物学的研究 3. 神経回路形成とシグナル伝達 4. 代謝疾患の分子遺伝学	
		教授	佐藤 浩	生命科学講座 生物学	1. 遺伝性黄疸の分子生物学的研究	
	臓器制御系専攻	器官病態制御部門	教授	堀江 稔	内科学講座 循環器・呼吸器	1. 不整脈の基礎的ならびに臨床的研究 2. 循環器疾患における遺伝子診断 3. 心不全の再生医療 4. 虚血性心疾患の発症機構と治療に関する研究
			教授	田中 俊宏	皮膚科学講座	1. 皮膚の構築にかかわる細胞接着の研究 2. 皮膚の構築破綻に起因する皮膚疾患の病態解明 3. 病因に対応した治療法の開発研究
教授			大路 正人	眼科学講座	1. 網膜硝子体疾患の病態解明と外科的治療の開発 2. 眼内サイトカインに関する研究 3. 人工網膜の開発	
教授			山本 学	歯科口腔外科学講座	1. 骨の再生に関する研究 2. 口腔腫瘍の病態と治療 3. 顎骨と口腔の再建に関する研究	
教授			野崎 和彦	脳神経外科学講座	1. 脳虚血の病態と治療に関する研究 2. 脳動脈瘤の病態と治療に関する研究 3. 脳動静脈奇形の病態と治療に関する研究	
教授			浅井 徹	外科学講座 心臓血管・呼吸器	1. 冠血行再建手術におけるグラフト血管機能に関する研究 2. 心拍動下手術における機能に関する研究 3. 心臓血管の再生医療に関する研究 4. 心臓血管手術侵襲に関する研究 5. 僧帽弁再建術式の研究	
教授			辻川 知之	総合内科学講座	1. 炎症性腸疾患の病態と治療に関する研究 2. 腸粘膜の吸収機構に関する研究 3. 小腸内視鏡を用いた診断と治療に関する研究	
准教授			齊藤 康晴	光学医療診療部	1. 消化器癌の診断と内視鏡治療に関する研究	
准教授			今井 晋二	リハビリテーション部	1. 骨代謝における骨芽細胞動員 骨粗鬆症性脊椎障害に対する治療 2. 末梢神経の形態学的研究 末梢神経傷害に対する治療	
准教授			西川 正典	歯科口腔外科学講座	1. デンタルインプラントに関する研究 2. 歯周組織の細胞生物学	
准教授			荒木 勇雄	泌尿器科学講座	1. 排尿障害の診断と治療 2. 神経排尿反射回路の伝達メカニズムに関する研究 3. 女性泌尿器疾患の診断・治療法の開発	

専攻名	部門名	職名	氏名	講座名等	主な研究内容
臓器制御御系専攻	器官病態制御部門	准教授	中澤拓也	脳神経外科学講座	1. 脳血管障害の病態と治療に関する研究 2. 脳血管内手術に関する研究
		准教授	手塚則明	医療安全管理部	1. 肺癌に対する手術法の研究 2. 肺癌化学療法の研究
		准教授	中西元	皮膚科学講座	1. 皮膚におけるヒトパピローウィルスにおける発癌メカニズム 2. 非結核性抗酸菌症における皮膚病変の形成機序の解明
		准教授	五月女隆男	総合内科学講座	1. 敗血症における臓器不全進展メカニズムの研究 2. SIRSに対する血液浄化療法の開発
		准教授	杉本俊郎	総合内科学講座	1. 内科診断学 2. Clinical reasoning臨床推論 3. 糖尿病性腎症の成因
		准教授	大西正人	総合内科学講座	1. 慢性心不全の病態生理と治療 2. プライマリケアにおける高血圧の診断と治療 3. シミュレーション医学教育
		講師	佐々木雅也	栄養治療部	1. 腸粘膜の増殖と分化に関する研究 2. 病態栄養に関する研究
		講師	中野恭幸	内科 呼吸器	1. 肺の機能と構造に関する研究 2. 呼吸器感染症に関する研究 3. 呼吸器疾患と栄養 4. 肺癌に関する研究
		講師	猿橋康雄	整形外科	1. 腰椎々間板ヘルニアの病態と治療に関する研究 2. 脊髄損傷の病態と治療に関する研究 3. 関節リウマチによる脊椎炎の画像診断に関する研究
		講師	川崎拓	整形外科	1. 最小侵襲人工関節手術に関する研究 2. リウマチ性疾患の疫学調査
		講師	宇津貴	内科 腎臓	1. 腎臓における血圧制御機構に関する研究 2. 腎臓病進展機構に関する研究
		講師	成田充弘	泌尿器科	1. 泌尿器体腔鏡下手術に関する研究 2. 前立腺癌治療とQOLに関する研究
		講師	川村肇	眼科	1. 網膜硝子体疾患の病態と治療
		講師	阿部元	外科 乳腺・一般	1. 乳腺疾患の診断と治療に関する研究 2. 癌化学療法 3. 内分泌腫瘍の診断と治療に関する研究 4. 移植医療
		講師	大脇成広	耳鼻咽喉科	1. 音声障害に対する診断と治療 2. 頭頸部癌の診断と治療
		講師	鈴木友彰	外科 心臓血管	1. 冠動脈バイパスモデルの研究 2. 心臓大血管手術の長期予後の研究
		講師	辻田靖之	救急・集中治療部	1. SIRSの心機能障害に関する研究 2. 低侵襲血行動態モニタリングによる循環動態の把握 3. 循環器疾患の遺伝的因子、遺伝一環境因子の相互作用の解明
		講師	藤井紀和	皮膚科	1. 皮下腫瘍・皮膚腫瘍のエコー所見と利用方法の検討 2. 光線力学療法による皮膚悪性腫瘍の治療
		講師	小川恵美子	保健管理センター	1. 呼吸器内科学の中でも特に慢性閉塞性肺疾患(COPD)の病態解明 2. 細胞培養(気道上皮細胞)を用いたサイトカイン産生の機序の機構 3. 臨床データを用いた臨床研究
		講師	花岡淳	呼吸器外科	1. 胸部疾患に対する胸腔鏡下低侵襲手術 2. 肺癌に対する手術法の研究 3. リンパ節微小転移に関する研究 4. 肺癌予後・治療に関するバイオマーカーの研究

専攻名	部門名	職名	氏名	講座名等	主な研究内容
臓器制御御系専攻	器官病態制御部門	講師	菊池克久	総合科学講座	1. 高分解能CTによる骨質の研究
		講師	田畑貴久	救急集中治療医学講座	1. 敗血症における生体反応メカニズムの研究 2. 多発外傷の診断、治療に関する研究
		講師	藤本徳毅	皮膚科	1. 自己免疫性疾患における抑制性B細胞の研究 2. 皮膚悪性腫瘍の治療に関する研究 3. 皮膚ヘルペスウイルス感染の新規診断法の開発
		講師	山本寛	消化器外科	1. メタボリックサージェリーによる糖尿病改善のメカニズムの研究 2. 消化器疾患の病態における脳腸連関の研究 3. 胃癌の治療に関する研究
		講師	目片英治	化学療法部	1. 大腸癌治療 2. 予後因子解析 3. 抗癌剤感受性試験 4. 化学療法(消化管)
	遺伝子治療部門	教授	藤山佳秀	内科学講座 消化器・血液	1. 粘膜免疫系と消化器疾患成立に関する研究 2. 消化器癌の診断と治療に関する研究 3. 造血系リンパ系腫瘍の診断と治療に関する研究
		教授	江口豊	救急集中治療医学講座	1. 敗血症性多臓器不全における凝固治療系に関する血管内皮細胞機能の分子生物学的解析とその制御 2. 心臓系疾患におけるプロスタグランジンD合成酵素の分子病態学的解析と治療への応用
		准教授	小島秀人	生化学・分子生物学講座 分子遺伝医学	1. 糖尿病の遺伝子治療 2. 幹細胞を用いた臓器再生 3. 遺伝子治療ベクターの作製 4. 脂質代謝異常と動脈硬化
		准教授	松村一弘	救急集中治療医学講座	1. 糖尿病の遺伝子治療 2. 幹細胞を用いた臓器再生 3. 敗血症における栄養代謝
		講師	程原佳子	内科学講座 血液	1. 造血幹細胞移植の臨床的研究 2. 造血器悪性腫瘍の診断と治療 3. 巨核球系細胞の分化・増殖
	人工的制御部門	教授	谷徹	外科学講座 消化器・乳腺・一般	1. バイオイメージング、ロボットによるナビゲーション外科手術 2. 消化器癌の外科的治療向上と低侵襲手術に関する研究 3. 重度侵襲下の生体防禦機構障害と対策 4. 臓器再生
		教授	松末吉隆	整形外科科学講座	1. 骨・関節外科で用いる生体材料に関する研究 2. 関節軟骨再生と成長因子に関する研究
		教授	岡田裕作	泌尿器科学講座	1. 泌尿器癌の診断と治療に関する研究 2. 尿路変向・再建・人工膀胱に関する研究 3. カルシウム含有尿路結石症に関する研究
		教授	永田啓	医療情報部	1. ヒューマンインターフェイス(パーチャリアリティー Augmented Realty) 2. マイクロマシン(手術用マイクロマシンの基礎研究) 3. 医学情報システム
		教授	来見良誠	総合外科学講座	1. ナビゲーション外科に関する研究 2. 内視鏡外科手術に関する研究 3. ロボティックサージェリーに関する研究
		准教授	杉本喜久	医療情報部	1. 医用電子工学 2. 医療情報システム 3. 循環器系の生体工学
		講師	仲成幸	外科学講座 消化器	1. コンピューター外科学 2. MR画像誘導手術に関する研究 3. 内視鏡下低侵襲手術に関する研究 4. バイオ人工臓器に関する研究
	疼痛制御部門	教授	野坂修一	麻酔学講座	1. 麻酔科領域の医事紛争 2. 麻酔の作用機序
		准教授	田村祐樹	家庭医療学講座	1. 緩和ケア・ターミナルケア学 2. 心理療法(がん患者と家族)
		講師	福井聖	ペインクリニック科	1. 慢性疼痛のMRスペクトロスコピーによる評価 2. 椎間板性疼痛、椎間板ヘルニアに対する椎間板内療法 3. 脊椎疾患に対する低侵襲治療の研究 4. 高画質硬膜外内視鏡による診断・治療

専攻名	部門名	職名	氏名	講座名等	主な研究内容
環境応答因子解析系専攻	生活習慣病・老年疫学部門	教授	三浦克之	社会医学講座 公衆衛生学	1. 循環器疾患・生活習慣病の疫学 2. 循環器疾患・生活習慣病の予防医学 3. 栄養疫学
		准教授	兼重努	医療文化学講座 文化人類学	1. 中国少数民族の人類学的研究 2. 風水思想の研究 3. 老いおよび老人に関する人類学的研究
		准教授	村上義孝	社会医学講座 医療統計学	1. 大規模データベースの基づいた解析とその方法論 2. 保健統計資料の高次利用 3. 生物お付け医学の応用
		准教授	大久保孝義	社会医学講座 公衆衛生学	1. 生活習慣病・脳心血管の疫学・臨床研究 2. 血圧変動の予防・臨床的意義解明のための疫学研究
	血管機能制御部門	教授	岡村富夫	薬理学講座	1. 血管の機能に関する薬理学的研究 2. 生活習慣病モデル動物における血管の機能変化 3. レニンアンジオテンシン系と生活習慣病 4. 血管トーンの内皮及び支配神経による調節 5. 内因性一酸化窒素(NO)の作用について
	分子栄養・代謝制御学部門	教授	前川聡	内科学講座 糖尿病内分泌	1. インスリン情報伝達機構 2. インスリン抵抗性発症機構 3. 糖尿病発症関連遺伝子
		教授	寺田智祐	薬剤部	1. 脂質トランスポーターおよび脂質代謝に関する研究 2. 脂質分析法の開発
		准教授	西尾善彦	内科学講座 糖尿病内分泌	1. インスリンとインスリン抵抗性による血管障害機構 2. 栄養素による代謝調節の分子機構 3. 糖尿病における血管障害機構
		准教授	森田真也	薬剤部	1. 脂質トランスポーターおよび脂質代謝に関する研究 2. 脂質分析法の開発
		講師	丸尾良浩	小児科	1. 遺伝性黄疸の分子遺伝学的研究 2. UDP-グルクロン酸遺伝子多型と薬剤代謝に関する研究 3. 先天性甲状腺機能低下症の分子遺伝学的研究
	労働関連疾患部門	准教授	埜田和史	社会医学講座 衛生学	1. 作業関連性筋骨格系障害の予防 2. ヒューマンサービス労働衛生学的研究 3. 障害者をめぐる保健医療の社会医学 4. 農業労働の人間工学 5. 高齢者・女性の労働衛生学
		教授	小島隆次	医療文化学講座 心理学	1. 空間認知と言語理解 2. 感情表現理解 3. ICTの高等教育での利用
	遺伝子多型解析学部門	教授	早島理	医療文化学講座 哲学	1. インド大乘仏教瑜伽行唯識思想 2. 医の倫理
		教授	平英美	医療文化学講座 社会学	1. エスノメソドロジーと会話分析ー医療社会学への応用としてD-P関係を対象とした研究 2. わが国の医療情報開示をめぐる歴史と現状について
		教授	相浦玲子	医療文化学講座 英語	1. ジョージ・マクドナルドの死生観 2. バイロン研究 3. 異文化理解 4. 医学英語教育
		准教授	森田一平	医療文化学講座 独語	1. 外国語授業へのランデスキュンデの統合 2. 視覚素材、聴覚素材の教材化 3. 外国語授業とグルッペンディナミク



入学者選抜等に関する照会先

滋賀医科大学 学生課入試室入学試験係

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL 077-548-2071

E-mail hqnyushi@belle.shiga-med.ac.jp

<http://www.shiga-med.ac.jp/>